

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	科学技術国際活動の推進事務費		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者	科学技術・学術戦略官 (国際担当) 長野 裕子	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・なし		担当課室	科学技術・学術戦略官(国際担当)付		科学技術・学術戦略官(国際担当) 長野 裕子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	政府間会合等を通じ、科学技術外交の戦略的推進による重層的な協力関係を構築する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	科学技術協力協定に基づく合同委員会や国際機関での会合等における二国間、他国間での意見交換、専門的な議論を行うための専門家の派遣・招へい、ワークショップ等を開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	181	180	169	161	
		繰越し等	-	-	△1	-	-	
		計	-	181	179	169	161	
	執行額	-	121	142				
	執行率(%)	-	67%	79%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	科学技術外交の戦略的推進による重層的な協力関係を構築するため、日米間を始めとする二国間協力や、多国間協力、アジアにおける科学技術協力、科学技術協力協定に基づく活動や政府間対話を推進すること、および国内外の大学等、関係機関との連携を図りつつ、国際共同研究を推進すること等を目的としているため、定量的な指標による評価にすぎない。		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	外国人専門家等招へい人数		人	25	35		-	
				-	(55)	(55)	(50)	
	国際会合等への専門家・行政職員等派遣人数		人	209	195			
			- ※	(155)	(154)	(141)		
単位当たりコスト	0.25 (百万円/招へい者) 0.41 (百万円/派遣者)		算出根拠	<外国人専門家等招へい> 外国人招聘旅費+招聘外国人滞在費(平成24年度執行実績):11百万円 ÷外国人専門家等招へい人数(平成24年度実績):46人 <国際会合等への専門家・行政職員等派遣> 委員等旅費(外国分)+在外研究員旅費+職員旅費(外国分)(平成24年度執行実績):102.2百万円 ÷国際会合等への専門家・行政職員等派遣人数(平成24年度実績):249人				
				※()内は平成22年度「国際研究集会研究員の派遣」によるもの。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	非常勤職員手当	18百万円	19百万円					
	諸謝金	0.5百万円	0.9百万円					
	職員旅費	42百万円	41百万円					
	委員等旅費	62百万円	59百万円					
	在外研究員旅費	16百万円	17百万円					
	外国人招へい旅費	11百万円	10百万円					
	招へい外国人滞在費	6百万円	6百万円					
	庁費	13百万円	9百万円					
	計	169百万円	161百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、政府間会合等を通じ、科学技術外交の戦略的推進による重層的な協力関係を構築することを目的とするニーズの高い事業であり、国が実施すべきである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	外国旅費の執行にあたって、航空賃の見積りを複数社から取得する等、コスト削減に努めている。また、資金は、海外派遣や招へい及びそれに付随するもの等、科学技術の国際活動を推進するために必要な事務的経費に限定されている。平成24年度については、引き続き航空賃の節減等に努めたことや契約差額等による経費の効率的な使用により、不用が生じているものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○				
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	言語や文化の異なる諸外国と良好な協力関係を築くためには、直接交流し、対話することが有用であることから、実効性の高い手段である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	本事業は、政府間会合等を通じ、科学技術外交の戦略的推進による重層的な協力関係を構築することを目的とし実施されており、本事業に係る経費は、文部科学省で直接執行しており、会計規則等を踏まえ適切に処理するよう努めている。各案件の処理にあたっては、施策との関連性について精査しており、一定の成果が得られていると判断していることから、今後も本事業を継続することが重要である。なお、事業の性質上、外国機関との調整が必要なために事前に計画しておくことが困難なものがあることや、自国開催の場合と相手国開催の場合では必要となる経費が異なることなどから、各年度ごとに必要な費目を十分に検討する必要がある。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業 内容 の 改善	1. 事業評価の観点:当該事業は、政府間会合等を通じ、科学技術外交の戦略的推進による重層的な協力関係を構築する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見:当該事業は、平成24年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じた要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮 減	平成24年度においては、特に外国人招へい者数が当初想定していたものと乖離が見られ、不用が生じているところ。平成25年度予算においては、経費の執行状況も踏まえた削減を行っており、また事業内容を見直した上で、平成26年度概算要求に△8百万円反映した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0194,0196,0197	平成23年	0038	平成24年	0219

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定中勤務費を記載。

**[A] 文部科学省
(142百万円)**

科学技術協力協定に基づく合同委員会や国際機関での会合等における二国間、他国間での意見交換、専門的な議論を行うための専門家の派遣・招へい、ワークショップ等の開催経費。

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

諸謝金	18百万円
職員旅費	36百万円
在外研究員旅費	14百万円
委員等旅費	54百万円
外国人招へい旅費	8百万円
庁費	9百万円
招へい外国人滞在費	3百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委員等旅費	委員等を派遣招へいするための旅費	54			
職員旅費	職員を派遣するための旅費	36			
非常勤職員手当	本事業を実施するための非常勤職員の人件費	18			
在外研究員旅費	専門家等を派遣するための旅費	14			
庁費	雑費等	9			
外国人招へい旅費	外国人を招へいするための旅費	8			
招へい外国人滞在費	招へいした外国人の滞在費	3			
諸謝金	専門家等への諸謝金	0.2			
計		142	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)